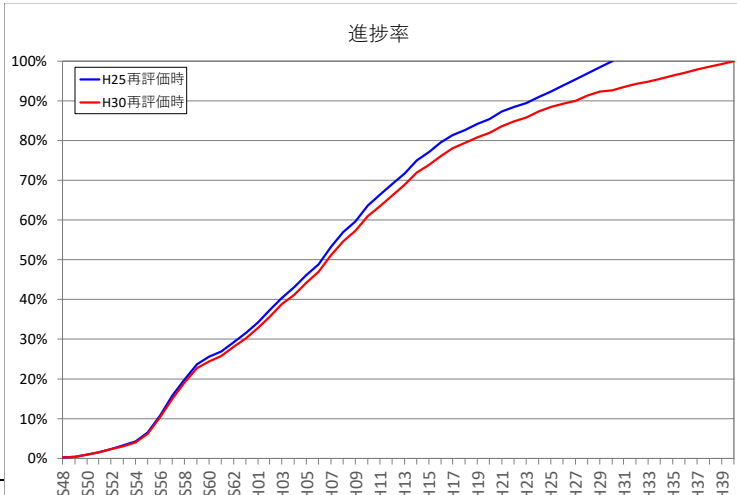


平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課)
	再評価時点 H25	佐賀江川 (佐賀江川・新川・八田江・巨勢川・中池江川・巨勢川上流・黒川・焼原川) 河川整備交付金事業(広域河川改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減及び排水機場建設により内水対策を図る。 計画流量 240m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=514億円 工期：S48～H35 改修延長：L=41,240m 計画流量：240m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管75基、橋梁56基、堰13基	佐賀江川工区及び新川工区、八田江工区、巨勢川工区は完成している。 巨勢川上流工区は、金立川合流点まではほぼ概成しており、以後は上流部の暫定区間の整備促進を図る。 中池江川工区は国道34号下流について概ね完成し、姉川橋関連で国道と調整を図っている。 焼原川工区は、狭窄部である河川構造物の改築を進め、圃場整備の工程と合わせた築堤の整備を行っている。 黒川工区は、福島橋の下流200mまでは完成し、来年度完成予定である。 国道34号の若淵橋他50橋完成 (H24末進捗率 91%) (年平均進捗率 2.3%)	(過去の災害実績) H21.7 浸水戸数 39戸 農地浸水面積59ha等 (地域の状況) 平成20年度に巨勢川調整池(直轄事業)が完成した。 兵庫北土地区画整理事業などにより、宅地や事業所等の増加が見られる。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 (B/C) = 6.5	再生材の積極的利用 建設副産物の有効利用	再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H30	佐賀江川 (佐賀江川・新川・八田江・巨勢川・中池江川・巨勢川上流・黒川・焼原川) 河川整備交付金事業(広域河川改修事業)		全体事業費：C=524億円 工期：S48～H40 改修延長：L=42,740m 計画流量：240m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管72基、橋梁60基、堰18基	佐賀江川工区及び新川工区、八田江工区、巨勢川工区、黒川工区は完成している。 巨勢川上流工区は、金立川合流点まではほぼ概成しており、以後は上流部の暫定区間の整備促進を図る。 中池江川工区は姉川橋(国道34号)まで完成している。 焼原川工区は、狭窄部の掘削・護岸整備を行っている。 (H29末進捗率 94%) (年平均進捗率 2.1%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 特になし	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 (B/C) = 5.2	同上	再評価実施後5年が経過	平成2年洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等			河川幅が狭いことによる片岸施工に伴う仮設費用の増加での事業費の増 用地交渉に期間を要したことによる工期の延長			前回再評価時と比較し、工期延長及び全体事業費の増によりCが増大し、費用対効果(B/C)の減となった。			